

「人々と『ともに』」フィリピンの貧困解決に取り組む

活動内容

フィリピンで主に、女性や子どもを対象とした保健・医療、教育、収入向上の支援活動を実施。活動内容はごみ処分場での職業訓練や地域の保健・医療を担う住民組織の強化などを行い、路上の子どもたちへの路上教育の実施や奨学金の提供。日本国内では国際理解教育やフェアトレード商品の販売などを行っている。市民が「自分にできること(ICAN)」を実行するきっかけを広くつくっている。

活動の背景、活動への思い

創立者がフィリピンに行った際、子どもたちが貧困のため教育面や衛生面において厳しい環境で暮らしていることに衝撃を受け、「何かできることがあるはず」との思いで友人たちと団体を設立。フィリピンの貧困状況を改善するとともに、日本にもフィリピンにも「自分にできること(ICAN)」を意識し、問題解決のために動く人があふれる社会を目指して、「人々の『ために』」ではなく、人々と『ともに』」の言葉を胸に活動している。

募集中!

書き損じはがきや古本、CDなどを募集中。それらは換金され、子どもたちの教育支援となる。はがきは未投函の郵政はがきであれば、古くても汚れていても大丈夫。本やCDなどは次の人が購入したいと思うような状態のきれいなものを募集。はがきは事務所に直接郵送を。古本は場合により無料集荷も可能なため、一度問い合わせを。



概要

法人認証年月日 / 2000年7月13日
 主な活動分野 / 国際協力
 従たる活動分野 / 人権擁護・平和推進、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒460-0011 名古屋市中区大須3-5-4
 矢場町パークビル9F

TEL 052-253-7299 火～土 12:00～19:00

FAX 052-253-7299

E-mail info@ican.or.jp

URL http://www.ican.or.jp/

途上国と日本、団体と団体をつなぐかけはし

活動内容

1. 文房具や家具類などさまざまな支援物資を集め、途上国を支援するNGOや外国人学校などへ提供。
2. 気軽に参加できる『NGOスキルアップセミナー』の開催。このセミナーで製作したソーラーパネルは、ハイチ、ニカラグア、スリランカで活用されている。
3. NGOに対し活動資金を助成する『かけはし支援基金』事業の実施。
4. その他、国内の自然災害、留学生、外国人学校などへの支援活動。

活動の背景、活動への思い

かつてNGOの現場では、提供できる物資を持つ人がいても、物資を必要とする団体を仲介する機関がないという状況があった。そこで有志が設立した『支援物資を送る会』を前身とする。団体名の「アルシュ」は「架け橋」を意味し、善意を提供してくれる人たち、途上国の現場で支援活動に携わっているNGO、支援を必要としている人たちをつなぐ存在になりたいという思いを表している。

募集中!

イベントのボランティアを募集中。内容は会場設営や受付、運営など。また事務仕事全般に関する事務局のボランティアも募集している。希望する人はまずは電話、またはメールにて連絡を。「一度事務所にてお話をした上で活動に入ってもらいたい」とのこと。活動に賛同し、応援してもらえる会員も常時募集中。



概要

法人認証年月日 / 2003年10月20日
 主な活動分野 / 国際協力
 従たる活動分野 / 保健・医療・福祉、NPOの援助

→ 連絡先

〒467-0827 名古屋市瑞穂区下坂町4-15 STARIA1F

TEL 052-882-2435 金 14:00 ~ 16:00

FAX 052-882-2435

E-mail archesr@nifty.com

URL -

インドネシアと日本、双方の発展を目指して

活動内容

さまざまな国籍の生徒が在籍する国際学校『ISI中京』に在学中のインドネシア人に対し、学費や生活費を稼ぐための就労を支援。生徒は18歳から20代後半。派遣会社社長である団体理事を通じ、派遣の仕事を斡旋している。また、文化・習慣の違いや人間関係、就労環境など、生活全般の相談支援を実施。そのほか、来日している日系インドネシア人を対象に、行政書士である団体理事が、日本で暮らす上で必要な各種申請の手続きを支援している。

活動の背景、活動への思い

日本企業での就職を目指し日本語を勉強するため、毎年10人ほどのインドネシア人がISI中京に入学するが、入学者の親には学費・生活費を送金するだけの経済力がないことが多い。そんな生徒たちの支援を、代表がインドネシア大使館の職員から頼まれたことで同団体を設立した。インドネシアは世界で2番目に日系人が多く、日本と関わりの深い国。「インドネシアと日本双方が豊かで暮らしやすい国となるよう、今後も活動を続けていきたい」と代表は語る。

メッセージ

「インドネシアに関する相談があれば、ぜひお電話を」と呼びかけている。内容は身近なインドネシア人に関することから現地の状況など、何でも大丈夫とのこと。「インドネシアに関するイベントに参加したり、インドネシアを旅行したりして、インドネシアについてもっと知ってもらえたらうれしい」と代表は語る。



概要

法人認証年月日 / 2006年7月5日
主な活動分野 / 国際協力
従たる活動分野 / 経済活動、NPOの援助

連絡先

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-18-24-1307

TEL 052-264-7208 10:00 ~ 20:00

FAX 052-264-7209

E-mail tk.com1@softbank.ne.jp

URL -

ネパールの就学できない子どもたちを支援

活動内容

ネパールの低所得者層の子どもたちを支援する取り組みを行っている。貧困のため就学できない児童に支援金、衣料品、文具などを支給。子どもたちへの直接手渡しを大切にしており、ネパールのボランティア団体『タラ』と協力して活動を行う。日本でもチャリティバザーの開催、ネパールについての紹介やネパールのストリートチルドレンの現状についての情報発信、ネパールの民族楽器演奏家を招いてのチャリティコンサートを開催し、国際理解活動も行う。

活動の背景、活動への思い

自分の娘がネパールで貧困層児童の支援活動を始めた時、現地を訪れ悲惨な現状を目の当たりにした代表が「少しでもその状況を変えたい」と団体を設立。現在のネパールの社会構造では、支援活動が難しい部分も多々あるが「子どもたちにきちんと届く支援を長く続けていきたい」という。「ネパールの貧困問題を伝えるだけでなく、自然や文化など魅力も伝えていきたい。興味関心をもってもらうことがネパールをよくしていくことにつながる」と代表。

募集中!

活動を支援してくれるボランティアを募集、寄付も受け付けている。その他、チャリティバザー用の物品の提供も歓迎。「名古屋を中心にネパール支援や文化交流をテーマにしたイベントを開催しているので、ぜひ足を運んでいただきネパールについて知ってほしい」と同団体。



概要

法人認証年月日 / 2004年6月18日
主な活動分野 / 国際協力
従たる活動分野 / 人権擁護・平和推進

→ 連絡先

〒464-0819 名古屋市千種区四谷通2-10
ルーツストーン ラ・メゾン3F 老久内

TEL 052-783-5822 11:00 ~ 19:00 火除く

FAX 052-783-5822

E-mail info@roukyu.com

URL <http://npogreenheart.jp/>

アフガンの一人でも多くの子どもたちに笑顔が戻るように

活動内容

アフガニスタンの恵まれない孤児や女性を対象に自立支援を行う。具体的な活動は次の3つ。1.カブール郊外で自立教育センター『ウミード』(希望)を運営。現在68名の孤児たちが学び、暮らしている。2.『ウミード』で成人女性のための就業訓練の実施。「読み書き」「裁縫」「美容」などの技術習得の支援を行う。3. 恵まれない孤児に親の愛を知ってもらう「養育親制度」を実施。日本で養育親になってくれる人や、運営資金の支援募集を行う。

活動の背景、活動への思い

夫の意志を継ぎ、サーベ代表が仲間と共に、同団体を立ち上げたのは2001年12月。以来「アフガンの、一人でも多くの子どもたちに笑顔が戻ること」を目標に、活動を続けている。「平和を愛して、テロ・戦争を憎んで」と、サーベ代表は子どもたちにいう。『ウミード』の運営により、孤児たちが学校に通い生活できるだけなく、卒業後収入のよい職に就けたり、『ウミード』に雇用が生まれ、その家族に生活の基盤ができるなど、活動は発展し続けている。

募集中!

「アフガニスタンの子どもたちの笑顔を守り、笑顔を増やす」活動を支援し、応援してくれる人を募集している。現在、次の会員・寄付を募集中。個人会員:3,000円/1年、団体会員10,000円/1年。寄付金:お気持ちで。養育親:5,000円/1ヶ月、60,000円/1年。振込先はホームページ参照。



概要

法人認証年月日 / 2005年2月14日
主な活動分野 / 国際協力
従たる活動分野 / 人権擁護・平和推進、
子どもの健全育成

→ 連絡先

〒462-0034 名古屋市北区天道町3-17-11

TEL 052-912-6400 10:00 ~ 18:00

FAX 052-912-6400

E-mail sac-afghan@live.jp

URL <http://www014.upp.so-net.ne.jp/sac-afghan/>

地域とともに、地球規模の課題の解決を目指す

活動内容

1. 東ティモールの農業指導者団体を通して、雇用創出及び農業のための山の保水力回復を目的とする植林事業、養鶏場の設置、換金作物の技術指導の支援を行っている。今後は農業指導者達がNGOとして運営していけるよう、組織づくりの支援も行っていく。
2. 国内では自治体と協働し、まちづくりのイベントや、参加型で馴染みやすい国際協力に関する講義の企画・運営を行う。

活動の背景、活動への思い

市民による国際協力は、CDI(市民に一番近い団体である自治体を通して市民団体やNGOと協働して行なう)の形が望ましい、との考えが世界的に広まったことを受け設立。日本においてはCDIの流れは衰退してしまったが、現在もさまざまな組織と協働して活動している。地域の歴史的背景・文化を踏まえた支援が必要との思いから、金銭面や物資だけでなく、地域の関係性づくりなど、それぞれの地域の特色に合った支援を行っている。

募集中!

イベント運営や講師の補助などに協力してくれる、イベントボランティアを募集している。「イベントを通して、地域の多くの方と触れ合うことができ、人と人のつながりが実感できるのでは」とのこと。また、同団体の活動を支える会員も常時募集している。詳しくはホームページ参照。



概要

法人認証年月日 / 2002年6月14日
 主な活動分野 / 国際協力
 従たる活動分野 / まちづくり、NPOの援助

→ 連絡先

〒461-0022 名古屋市東区東大曾根町40-6

TEL 052-935-7126

月・木・金・土 10:00 ~ 17:00 祝除く

FAX 052-935-7126

E-mail sugi@cdic.jp

URL <http://cdic.aift.jp/>

NGO支援を通じて、地球規模の課題解決を目指す

活動内容

貧困・紛争・環境破壊など地球規模の課題解決に取り組む市民団体「NGO」。同団体は特に中部地域のNGOを支援するため、次の活動を行っている。1.NGOとNGO・市民・行政・企業などをつなぐネットワークづくり。2.市民を対象に国際理解・国際協力に関する講座や、NGO職員、ボランティアを対象にスキルアップのための講座を開催。3.『NGO相談員』として市民からのNGOに関する疑問・相談に対応。

活動の背景、活動への思い

前身は発展途上国(第三世界)の問題に取り組む市民団体の情報交換の場であった『第三世界交流センター』。活動を続ける中で幅を広げ、現在の形となった。近年は次世代のNGOスタッフの育成にも力を入れており、毎年『NGOスタッフになりたい人のコミュニティ・カレッジ』を開催。修了生の多くがNGO・NPOスタッフとして、また団体を立ち上げ活躍中。このような取り組みを通して、人権・平和・環境が守られる社会の創造を目指している。

メッセージ

「NGO活動に関心を持ってほしい」と呼びかけている。発展途上国の問題に目が向くことで、日本における貧困や人権などの問題にも目が向き、問題解決への意識が生まれるとのこと。そうした「自分たちで考える姿勢」を身に付けることが、市民の行動する基盤と市民社会の底力を生み出し、よりよい社会を築くことにつながると考えている。



概要

法人認証年月日 / 2000年3月24日
主な活動分野 / 国際協力
従たる活動分野 / NPOの援助

→ 連絡先

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F

TEL 052-228-8109

火～土 13:00～17:00 祝除く

FAX 052-228-8109

E-mail info@nangoc.org

URL http://www.nangoc.org/

中国・西安市への教育支援、日中青少年交流を行う

活動内容

1. 中国西安市郊外の貧困地域に住む子どもたちへの教育支援として、現地の支援団体へ小学校や孤児院の建設資金や運営費、奨学金などを提供。同団体の前身『日中青少年育成友好協会』の活動も含め、これまでに12校の学校建設に寄与した。
2. 道路のない村への舗装道路『桜ロード』の建設・整備や、『桜の公園』の建設、寺院への仏像建立も行う。右写真は日中友好に縁の深い西安市・青龍寺に『空海八祖誕生の像』を寄贈した際の式典の様子。

活動の背景、活動への思い

同団体前身の関係者が、1993年に西安市で『国際着物ショー』を開催。その時、西安市の関係者から「シルクロードの伝統や歴史、文化などを日本に伝え、理解を深めてもらうために、日中青少年の文化交流を図りたい」と要請を受けた。そこで支援を始めようと現地のニーズを調査したところ、学校建設の必要性に気づき、学校建設から活動を始めた。「子どもたちに日中の架け橋になってもらいたい」との思いで活動を続けている。

募集中!

活動に賛同してくれる個人会員のほか、企業・法人会員も募集している。また西安市への交流ツアーも企画しているので、興味のある人はホームページを参照の上、問い合わせを。



概要

法人認証年月日 / 2001年12月14日
 主な活動分野 / 国際協力
 従たる活動分野 / 学術・文化・芸術・スポーツ、
 子どもの健全育成

→ 連絡先

〒451-0045 名古屋市西区名駅2-34-17-201

TEL 052-564-0120 平日 10:00 ~ 17:00

FAX 0568-23-2120

E-mail nmat-h@sky.plala.or.jp

URL <http://npo-jcbc.p-kit.com/>

世界の国々へ、医療機器の安全と治療技術を提供

活動内容

臨床工学技士など、医療機器を専門に扱う技術者が中心となって結成。海外医療支援を中心に活動している。同団体が行うのは、物資支援ではなく技術支援。医療機器の操作や運用の支援を必要とする国に技士を派遣し、医療機器を用いた治療技術の提供などを行っている。また、医療機器に関連した職種を目指す学生を対象にベラルーシやスーダンへの研修ツアーを開催するなど、次世代へ活動をつなげるための人材育成にも力を注いでいる。

活動の背景、活動への思い

廣浦代表が海外医療支援に関わったのは、小児白血病治療の医療支援のために訪れたチェルノブイリが最初。病院には、各国からの支援により治療に必要な機器はたっぷりあったが、それを操作できる技士がおらず、放置されていた。加えて、機器の衛生管理もずさんであったことから、現地スタッフへの指導を含めた技術支援の必要を痛感し、団体を設立。これまで、ベラルーシ、ウクライナ、スーダン、ラオスなどに技士を派遣している。

募集中!

医師、看護師の海外派遣に比べ、臨床工学技士など医療機器を専門に扱う技術者の派遣はあまり取り上げられないため、「まずは活動について知ってもらいたい」と代表。そのための海外スタディツアーの参加者を募っているので、興味のある人は連絡を。併せて、活動を支えてくれる会員も募集中。



概要

法人認証年月日 / 2007年5月8日
主な活動分野 / 国際協力
従たる活動分野 / -

→ 連絡先

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-7-2

TEL 052-588-2977 お問い合わせはメールで

FAX 052-588-2978

E-mail hiroura@tokai-med.ac.jp

URL <http://www.j-mets.org/>

中国・貴州省と日本をつなぐ架け橋を目指して

活動内容

中国・貴州省は中国南西部に位置し、省人口の39%を17の少数民族が占めている。豊かな自然と少数民族の伝統文化が残っており、観光産業での発展が期待される地域。同団体は貴州省について情報発信を行い、貴州省と日本の交流を深め、貴州省の経済発展に貢献することを目指し活動している。展示会で特産品や伝統衣装などを紹介するほか、今後は伝統手工芸を用いた商品開発や、貴州省への観光ツアー、学校建設などの教育支援も行う予定。

活動の背景、活動への思い

理事長は貴州省の少数民族ブイ族の出身。故郷で進む自然破壊や伝統文化の継承問題、経済発展の遅れなどの現状に胸を痛め、「何か出来ることはないか?」と思ったことが活動のきっかけ。「貴州省の宝は、秘境ともいわれる美しい自然と個性豊かな少数民族の伝統文化。日本の人にぜひ知ってもらいたいし、貴州省にとって日本の高い技術力やサービスは経済成長のお手本になる。お互いの国のよさを伝え、架け橋となる活動をしていきたい」と語る。

メッセージ

あまり知られていないが、赤飯、お餅、納豆、漬物などは貴州省にもあり、日本の食文化と近い。また、棚田が広がる農村の風景や人々のおおらかで優しい人柄は、「昔の日本のようで懐かしさを感じる」と、日本人観光客にも好評とのこと。これから文化交流を通じて友好を深め、貴州省の成長につなげていきたいという。



概要

法人認証年月日 / 2010年8月13日
主な活動分野 / 国際協力
従たる活動分野 / 学術・文化・芸術・スポーツ、
子どもの健全育成

→ 連絡先

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-13-28
名駅セブンスタービル604

TEL 052-443-3567 平日 10:00 ~ 17:00

FAX 052-443-3267

E-mail mail-npokisyu@tsbs.co.jp

URL http://npo-kisyu.tsbs.co.jp/